

釧新郷土芸術賞に輝く

受賞者の横顔

□上□

六十二年度釧新郷土芸術賞の受賞者が決まった。絵画部門では吾孫子雄子さんが女性として初の受賞、音楽部門では市内で数少ない女性のハープ奏者として活躍する板本絹子さん、また彫刻部門からは阿寒湖畔に在住して自然の素材を生かした制作を続ける滝口政満さんの三人に贈られる。二十一日の贈呈式を前に、そのプロフィールを紹介する。

自宅で児童の 絵画教室も

十五年前ほど前から絵筆を握

つたが、今日まで川瀬善衛さん、藤村正豪さん(故)、木下勲二さん、扇谷章二さんなど多くの先輩、友人の指導と励

子弟の絵画教育に情熱

女性らしい感性で“人間”追求

がたによる温かい力添えのおかげです」と吾孫子さんは感謝と喜びをかみしめる。五十九年に大作中心の油絵個展を初めて開いたが、「みんなの

にも出品し入選六回。「落選しても、後には引けないとばかり、根性で乗り越えてきた。へたでも何かを追求するこの

来釧して二十年。「やっとここ数年、アー釧路市民になつたかとの感慨を抱けるようになった。これから生きていく若い子供たちのためにも、良い仕事をしていきたい」と吾孫子さんは決意を新たにしている。

「三十九年のことで、ロマンチックな釧路の霧が忘れられず、あこがれの地の土を踏めばらくは“人間”を追求して孫子さんの人生の転機だった。標茶小にまず赴任、次いで市内湖畔小、寿小などを回

り十年ほど前に退職。現在は自宅のアトリエで制作のかたわら、児童の絵画教室も開いて七年になる。「大らかな子供作品には教わる点が多い。それに何より子供が大好き」と眼を輝かす。

マイペースを 制作モットー

釧路美術協会の会員で道展

が、セザンヌに学び島田章三にひかれる近年でこれからは自己の作品に磨きをかける充実にしたいという。

絵画

吾孫子雄子さん

釧路市武佐1の51

